



シオン会だより

Ibaraki Christian Junior College Alumni Association

2020年1月15日第14号 発行・編集／茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会
〒319-1295 代表／会長 根本 龍 哉
茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL0294-52-3215(代)
E-mail : ic-dousou@icc.ac.jp FAX0294-52-8899,53-9271
URL https://www.icc.ac.jp/shionkai/

第71回茨城キリスト教学園シオン祭 2019.11.2



目 次

1. 表紙・目次
2. 令和新時代に相応しい同窓会の構築
シオン学園の今
3. 就任のご挨拶
2020年春、
心理専門職の養成教育が始まります！
4. 再度のご挨拶
新水戸支部 就任挨拶
5. 学生時代の思い出
こども園のいろいろ
6. 教室便り
6. 2019年 定期年度幹事総会
7. 茨城キリスト教大学
短期大学部同窓会・シオン会役員
2019年度 事業計画
2019年度決算並びに2019年度予算
- 8・9・10・11. 第36回 園遊会関連記事
10. チャペル 人生の達人とは
11. 同窓会報告
12. 自分の子や孫がお世話になって
12. 第71回 シオン祭
13. 茨城キリスト教学園同窓会連合会から
14. 第72回 学園祭への参加とご協力をお願い
コラム 立ち止まって身の回りのSDGsを
考えてみませんか
15. 各支部だより
16. 第37回 園遊会のお知らせ
シオン会会費納入
並びに住所変更届出のお願い
編集後記



令和新時代に相応しい 同窓会の構築

茨城キリスト教大学短大同窓会

会長 根本 龍哉

同窓の皆様お元気ででしょうか。今年の十五、十九号台風と二十一号余波が東日本を襲い、暴風雨、洪水と土砂崩れによる未曾有の災害でお亡くなりになられた方にお悔やみと被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年の五月一日に元号が改まり令和元年となりました。しかし、平成から令和の時代になっても人口減少と高齢者急増、長期デフレと膨大な債務残高、地球温暖化による自然災害の多発、いずれ起こると予想される大地震等引き続き対処せねばならない状況にあります。このように厳しい時代だからこそ「令和」に込められた、人々が美しく心を寄せ合ってお互いに助け合い共存していく新しい社会、人生一〇〇年時代に相応しい健康で文化的社会を構築していく事が必要であります。我が大学短大部同窓会役員一同は新時代に相応しい活動を展開させるよう創意工夫していきたいと思

います。同窓の皆様にも同窓会や地元での集いに参加して縮小していく社会を盛り上げて欲しいと思います。現在、市町村の議

員や会社社長に就任、地元自治団体の役員として活躍している同窓生がおり、特に女性議員や女性社長等で輝いている方がさらに増えているようです。

令和に入り、我が学園では今年度から笹尾光氏が理事長に就任されました。新理事長はPeace Truth LOVEというスクールモットーを宣言し、人の想像を越えた変化の時代に生き抜いていく力を身に着ける教育の実現に努めます。我が学園は大変

という地域にありながら様々な人につながり、世界につながる拠点としての存在を意識する学園を目指すとの事であり、新理事長の下に未来に向かって益々学園が発展する事が期待されます。

同窓会の現状は、園遊会、学園祭の活動と会報発行や年会費の納入も順調であり心から感謝申し上げます。また、水戸支部、日立支部の行事も活発に行われておりご協力にお礼申し上げます。今後でもできるだけ支部活動とクラス会援助金を増額し、益々活動が盛んになるようにして行きたいと思

では支部活動に役員を派遣し、支部の組織強化と本部との意思疎通の更なる強化を図るようになります。また同窓会本部では、これまで活動のリーダーとして活躍戴いた草創期の同窓生が十回から二十回卒代の方に引き継いでいく状況にあります。今後持続可能な同窓会には更に三十回から四十回卒代の方に本部役員として参加して戴く事が必要だと感じています。どうかご協力程お願い致します。そして若い人たちが参加しやすいプログラムにしていく事も重要だ



シオン学園の今

シオン会副会長

岩 淵 延 子

前回のシオン会だよりから副会長のリレー掲載が始まりました。今回は私が引き受ける事となりペンを持ちました。

三学年交流(十二・十三・十四回卒「二三四」)の同窓会は楽しみにしています。今年二十五回を迎えますが、いつも出席下さった会員の小宅近昭さん(十三回 元那珂市長)が亡くなられて悲しい思いを致しました。御冥福をお祈り申し上げます。残された会員が元気で同窓



と考えております。同窓会本来の目的である親睦と交流の場の充実が最重要課題であると捉えております。令和という新元号時代に相応しい同窓会づくり邁進してまいりますのでご支援をお願い致しますと共に、会員の皆様のご健勝ご活躍を祈念申し上げます。

会が続けられる事を願わずにはいられません。学園も一昨年七〇周年を迎えました。私も卒業して五十何年、素晴らしく変わる姿を毎年見てきました。特に一昨年十二月に卒業生も現役大学生も長い間待ち望んでいた大みか駅東口と西口(学園口)と学園正門が直結したので。昔の学舎はありませんが学園の教えは貫かれています。新時代に対応してこれか



らも発展していくことと思

私は年に何度かある役員会には車での出席でしたが、駅から学園が近くなったので早速電車を利用してみました。

何年ぶりかに見る車窓の景色は見違えるように開発が進み、住宅が多くこの駅舎も立派になって子供のように見入ってしまいました。大みか駅西口から学園を見上げると本当に素晴らしく驚きます。

正門にはエレベーターが設けられ高齢者にも親切になっています。

令和二年の園遊会にはこの完成された学園に是非足を運んで一日楽しんで下さることを皆さんにお勧め致します。



今年四月に理事長に就任致しました。シオン会の皆様には引き続きご指導・ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

学園に着任し、冬の寒さに驚かされてからはや三年。以来、機会をいただきたびに学園の桜や緑のことを書いてきました。先日シオンの丘の辺りを歩きました。抜けるような青空と、木々の緑。本当に恵まれた環境を与えて下さった神様の恵みに感謝するばかりです。

ご報告があります。学園に学び果立っていった卒業生数が、創設七十二年でおよそ六万九千人に達していることが分かりました。(うち、短期大学一万八千人)お一人お一人の力強いお支えに深く感謝いたします。皆様の中にも親子孫三代の方がいらっ

しゃいますね?長い歴史と、地域に愛され育てていただいたきた学園であることを実感します。感謝と責任を持って、七万人のお気持ちに込めて参ります。

さて、創設八〇年一〇〇年に向けて学園はどう進んでいくのか。昨今の地方私学の状況にご心配の向きもあるかもしれません。ただ、この点は明確です。私たちに多くは先人の努力で受け継がれてきた建学の理念があります。学園はキリスト教を基とした教育を求め続けて参ります。私の仕事は、建学の理念の下で学園の各学校・園が目指す教育を継続させ、発展させる環境を整備すること。学園の宝物である園児・生徒・学生の成長を献身的な教職員と共に支えることです。テレビ業界から転じて分かったことがあります。それは、世の中に無限大というものがあるなら、それは子供たちの夢だということ。その夢を育て、実現していくのが学園の役割だと信じます。学園は全国でも少子化が進んでいる地域にあります。が、嘆いていても仕方あり

ません。これからはどこでも、それが当たり前になります。幸いなことに学園の各学校・園ではより多くの若者に門をたたいてもらうべく知恵を絞って様々な展開を考えてくれています。スクールモットー「Peace Truth LOVE」(平和と真理と、愛)は単なる言葉にとどまりません。自分が愛されていることを知り、隣人を愛することを知ら、こそ学園の教育が核心に据える精神です。モットーの実現に向けて一歩一歩進んでまいります。



就任のご挨拶

茨城キリスト教学園
理事長 笹尾 光



二〇二〇年春、心理専門職の養成教育が始まります!

生活科学部 心理福祉学科
望月 珠美

きたる春、茨城キリスト教大学院修士課程生活科学研究科に心理学専攻が誕生します。新専攻の開設を通して、県北地域における知とともに高度専門職養成機関として、本学がよりふさわしい役割を果たしていくことをめざします。

心理学専攻は、本学大学院教育として最も長い歴史を持つ文科学研究科を改組し、同研究科教育専攻の実績と専門性を継承するものとして生活科学研究科の中に移行、設置されるものです。一九九五年の開設以来、四半世紀に渡って優れた人材を輩出してきた教育心理学専攻は、心理学専攻の開設にともないその歴史を閉じることとなります。教育心理学専攻修了生をはじめご関係の皆さまには、今後は新専攻に

おける教育ならびに研究実践を見守り、応援していただければ大変に有難く存じます。

新専攻設置のねらいは、心理学の分野における精深な学識と実践力を授け、広く社会の発展に寄与する良き市民の育成をめざすとともに、高い倫理性と高度な専門知識および技術を持つ地域住民の心の健康の保持増進に貢献する高度心理専門職業人の育成を図ることです。修士生には「心理学」の学位が授与されます。前身となる教育学専攻の理念を受け継ぎ、これからも教育、福祉をはじめとする対人支援の場において活躍する人材の育成をめざします。必要な科目を修めることにより、心理に関する我が国初の国家資格である「公認心理師」試験の受

験資格を取得することができま

す。資格取得者には、学校カウンセラーをはじめ子育て支援、保健医療、福祉領域等における高度心理専門職業人として活躍することが期待されています。

心理学専攻の特徴は、定員五名という徹底した少人数制教育のもと、学生と教員間、学生相互間による双方向のかつ多方面に渡る密度の濃い協同学習環境が整備されていることです。実務経験に優れた兼任講師を含む全十三名の教員が、その学修を手厚く支援します。将来、心理臨床に携わることを志す方、また基礎心理の探求をめざす方にとっても充実した学びのプログラムが整備されています。さらには、他の研究科と同様に昼夜間開講制とともに長期履修制度を設けることにより、学びにおける多様なニーズにも対応した課程となっております。本学卒業生や社会人のみならず、現職者のリフレッシュメントやリカレント、生涯学習の場としても広くご利用いただけます。



再度のご挨拶

新文学部長

飛田 隆

シオン会の皆様お世話になっております。二〇一四年十二月二十五日第九号のシオン会だよりの中で「茨城キリスト教大学大学院同窓会の紹介」として大学院同窓会会長としてご挨拶をさせて頂いております。茨城キリスト教学園同窓会連合会の中でもシオン会の皆様にはお付き合いしていただき大変ありがとうございます。

今回は根本龍哉会長より大学の新文学部長として挨拶していただきたいとご依頼いただきましたのでご挨拶させていただきます。偶然だと思いますが私が前回ご挨拶させていただきました第九号のシオン会だよりに「二十五年間を振り返って」とのテーマで上野尚美先生が新文学部長としてご挨拶されております。その中で「与えられた仕事を断らずに引き受け、私なりに努めてきた結果なのかもしれないと思っております。」とお気持ちをお考えを書かれております。上野先生はそのお考え方通りに来年度から新学長になられます。その先生のお言葉をお借り

して私もその通りですと書ければ良いと思うのですが、残念ながら私の場合は、「皆様のお力をお借りすれば何とか頑張れるかな」というぐらいですので、他力本願的で初めから申し訳ない気持ちでおります。

文学部には皆様ご存じのように三学科ございます。現代英語学科、文化交流学科、児童教育学科がございましてそれぞれが独自の特色を持ち教育しております。それぞれの学科、教員が今後の文学部、大学の将来の発展について様々なお考えをお持ちですので、今後は各学科のご意見・お考えも踏まえながら皆様のお力をお借りして文学部、大学がよりよくなりますよう取り組んでいきたいと考えております。そのためには同窓会の皆様のお力がますます重要になってくると思っております。シオン会だよりを拝見しておりますと多岐にわたってご活動をされていることがわかりますので、皆様方が普段から同窓会活動を大切にされているのが推察できます。



新水戸支部 就任挨拶

水戸支部 支部長

庄司 良子

間違いないこのような活動が地域の中の茨城キリスト教学園を盛り上げているのだと考えております。本当にありがたいことだと思っております。最後にになりましたが、シオン

新たな「令和」の元号を迎えた、至る六月十六日、水戸支部総会が根本龍哉本部長他十六名の参加のもと開催され、役員改選で支部長に選任されました庄司良子です。微力ではございますが、水戸支部の発展に努力してまいりますので、皆様のご支援ご協力を、宜しくお願い致します。

又、嘉成洋前支部長には、長年に亘り会の発展にご尽力頂き心より感謝申し上げます。長びいた梅雨も明け、季節は移り、澄んだ空気に、金木犀の甘く爽やかな香りが漂い、秋の深まりを感じます。水戸支部は二年連続大型台風の影響により、研修会が中止となっております。自然の対応は難しいものですが、今年度も十一月十六日(土)、高尾山散策の旅

会、各同窓会の皆様方のご健康、ご多幸とますますの発展をご祈願いたしましてご挨拶とさせていただきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

を計画しました。本部長他四名の参加を頂き、秋晴れの中秋交流を深めながら楽しい研修が出来ました。

さて、私は現在も建設業の仕事に携わりながら、水戸商工会議所の議員として現在も、まちづくりの推進や地域の活性化等に活動を続けております。又、本会議所女性会会長退任後も評議員として、女性会の活動にも協力してまいります。「第十九回全国障害者スポーツ大会」にボランティアとして応援参加を予定しましたが、台風十九号が上陸したため安全を最優先し、主催する茨城県は全日



2019 11

程を中止と致しました。これからも女性経営者として資質向上を図りながら、社会に貢献する活動に取り組んでまいりたいと思っております。人口減少社会、少子高齢化社会へと変化している今、地域の絆を構築し元気な地域を創生するために自治会町内会長を勤めながら、行政と共に安心、安全災害に強い住みよいまちづくりを目指しております。

これからの支部活動も、皆様の要望を取り入れながら、無理なく多くの参加を頂ける様、勤めてまいりますのでご協力宜しくお願い致します。



学生時代の思い出

児童教育学科特任准教授

小野 司寿男

仕事で陰ながら後輩たちの活躍を応援したり、「アンネの薔薇」を頂いたり、時には大学に事業をお願いにあがったりはしていましたが、まさかこの歳になってまた母校に通うことになることは夢にも思いませんでした。キヤンパスは四十数年前の面影はまったくなく、建物も学生も信じられぬほど洗練され、まるでTVでよく見るドラマのシーンと同じです。変わらないのは海岸部独自の樹木の植生と窓から眺める水平線くらいかもしれません。

当時は、友人の多くがすねにちよつと傷持つ学生でしたし、授業に出る暇もないほど忙しくて(？)楽しい毎日を送っていました。ある日、学祭の実行委員長だった友人のK君が、学祭の資金集めに先生方の研究室に行くというのでついて行きました。「学費で経営される学校は俺たちのもの、我々は権利をもっと主張すべし。」時代とはいえ、そんな学生の代表を気取った二人はまず、年齢もそれほど違わず何かと相談に行つては自宅を酒を飲ませて頂いていたT先生

を訪ねました。最初は笑つて話を聞いていた先生は突然、見たこともないような厳しい顔で「お金が必要なら出しましょう。もらった金で楽しむのは自由ですが、それで本当にいいのですか。資金が足りないなら皆でバイトでも何でもやって、自分たちで稼いだ金で誰にも文句を言わない学祭をしたいと思わないのですか。君たちには学ぶ者としてのプライドはないのですか。」と仰いました。

ガツンと一発叩きのめされた二人は、今はなきⅢ号館のラウンジでしばらく呆然としていました。いい気になつていた自分たちの未熟さと浅はかさを悔やむと同時に、地方の本当に小さな私立大学の学生を愛し、信じ、見守ってくれていた先生を、最も恥ずべきかたちで失望させてしまったという後悔の念は今でも忘れられません。

その後、山での遭難騒ぎなど大学に迷惑をかけたばなしの学生生活でしたが、あの四年間が本当に人生最良の時だったと今更ながらに思います。



こども園のいろいろ

茨城キリスト教大学附属認定こども園

事務長 渡辺 功

この度シオン会だよりに寄稿の機会をいただき感謝いたします。

現在私は、茨城キリスト教大学附属認定こども園の事務長として、みらい園、せいじ園の事務業務を行っています。日々子どもたちと直接触れ合う機会は少ないのですが、元気に遊んでいる姿を間近に眺めて元気をいただいております。

認定こども園は、幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持ち、地域の子育て支援等も行う施設です。法令改正により二〇〇六年に創設された制度であり、茨城県では本園が第一号の認定こ

ども園です。

幼児教育・保育の無償化が十月から始まり、年間八、〇〇〇億円の予算が投じられることとなりました。所得制限はなく、三歳から五歳の子の幼保連携型認定こども園(本園)や保育園、幼稚園の保育料が無料となります。また、無償化は認可保育園や幼保連携型認定こども園などに加え、認可外保育施設なども対象になります。国は認可外施設についても、保育士の配置や保育室の面積などの指導監督基準を設けています。ただ認可保育所では原則全員が保育士資格を持つのに対し、認可外は三分の一以上が保育士であればよいなど基準は緩いものです。今回の無償化はその緩い基準すら満たさない施設でも、経過措置として五年間は無償化の対象とされます。

いづれにしても、働く保護者にとつてはとても大きな支援だと思えます。個人的には、三十年前にほしかった制度です。無償化以外にも、消費増税、働き方改革、処遇改善等、認定こども園を取り巻く環境は大きく変

わり、日本全国で問題となっている保育士不足もまだ解消されていません。課題は多々ありますが、先生方の献身的な日々の働きに、元気な子どもたちのパワーが加われば、きつと乗り越えることができると思っております。

最後に給食のお話をいたします。私の毎日のお昼ご飯は、こども園の給食です(当然給食費を払っています)。管理栄養士(本学の卒業生)が栄養バランスを考えた献立をもとに毎日作ってくれています。子どもたちの食事の様子や嗜好を知ることができ、良い機会となっております。また、お陰様で人間ドックの検査結果はまずまずのところまで推移しています。

まだまだお伝えしたいことは沢山ありますが、紙面の都合によりここで失礼いたします。



— 統合で遊ぶ子どもたち — せいじ園



— 園庭キッズハウスの砂場で遊ぶ子どもたち — みらい園



教室便り

高等教育無償化と 大学教育

短期大学 元学長 滝田 薫

休み時間の教室、机にうつぶせになり仮眠を取る学生がいる。真面目な学生で、授業にはよく出てくるのだが、集中して聴講できるはずもない。原因はアルバイトの疲れだ。今時の学生の多くが奨学ローンを背負って入学し、学生生活を賄うための長時間のアルバイトに追われている。昔の学生は「学生の自分は勉学にあり」と説教されたものだが、今時の学生はアルバイトを休むと雇用主から「職業倫理に欠ける」と説教されるそうだ。人手不足のこの国の経済は、特にサービス産業において学生バイト抜きにはまったく成り立たなくなっている。

こうした状況を放置しておいて良いはずがない。大学連盟などは、学生の困窮は大学の衰退に繋がるとの認識から、政府に状況改善の申し入れをしてきた。今回、政府が二〇二〇年四月から低所得層を対象とする「高等教育の無償化」を実施することになり、一歩前進ではあるが、状況が抜本的に改善されるものではない。

因みに、高等教育に対する公的負担の割合はOECD加盟国平均の対GDP比が一・一％なのに対して日本は約〇・五％で、加盟国中最下位である。(OECD「Education at a glance 2017」)

さらに、日本経済新聞によれば、文科省による大学の経常的経費についての来年度予算要求額は国立が一兆一三〇四億円、私立は三一九九億円である。(2019/11/7 余録)この格差はあまりに大きい。わが国の私立大学は全国の大学の八割を占め、大学生の四人に三人が私立に通っている。「公の財産の支出・利用の制限」を規定した憲法八十九条を盾に、私学助成に反対する向きもあるが、今や私立大学を公共財としてとらえて当然であろう。私立大学の多様性と自律こそがこの国の発展の鍵である。私立大学に対して、カリキュラムや理事会の構成に口を出す前に、せめて国立大と同レベルの助成をする文科省であってほしいと思う。

学園記念館前のイチヨウの葉が舞い散る季節となり同窓会員の皆様お元気で過ごしてでしょうか。師走となり良い感じで一年の締めくくりになります。ご多用のことと思います。くれぐれもお身体に気をつけてお過ごしください。

二〇一九年度茨城キリスト教短期大学同窓会の定期年次幹事総会が四月二十九日、初めて恒例の行事である第三十六回園遊会と同日同会場で開催をずらして開催されました。会員皆様のご協力でスムーズに議題検討でき閉会。総会終了後も散会することなく、園遊会会場で懐かしい学生時代の忘れられない出来事を振り返り楽しませていました。同窓生が長年願っていた大みか駅に直接つながる学園新正門ができ、「求めよさらば与えられん」マタイ福音書七章七十一節の聖句が現実のものとなったこと。日頃役員会などで車使用の方々が、誘い合って地域に開かれた学園と大みか地域が一体なった新しい幕開けをJRに乗り体験され母校の発展を実感されたようでした。



二〇一九年度定期年次幹事総会
(二〇一九年四月二十九日)

事務次長 大島 澄江



二〇二〇年度も同様に企画できるように検討中です。役員一同、皆様のお越しを心からお待ちしています。



茨城キリスト教大学短期大学部同窓会・シオン会役員

任期：2018年4月1日から2020年3月31日まで

会 長	根本 龍哉(12回卒)	理 事	武子みち子(22回卒)	桐 上 知子(23回卒)
副 会 長	野澤 知行(12回卒) 岩 淵 延子(12回卒)		中村 美幸(25回卒)	吉 成 浅子(25回卒)
	小笠原 茂(13回卒) 庄 司 良子(13回卒)		根本三喜男(25回卒)	内田さき子(30回卒)
	細谷由紀子(22回卒) 中村 純子(29回卒)		渡 辺 典子(34回卒)	海老澤由美子(35回卒)
理 事	川崎 芳男(3回卒) 茅 根 弘道(7回卒)		荒 木 孝子(37回卒)	根本由美子(40回卒)
	澤 茂子(7回卒) 山 縣 勝雄(7回卒)		大 貴 清子(40回卒)	栗 林 久代(43回卒)
	佐藤 敏光(7回卒) 河 野 弘(8回卒)		綿引美知枝(43回卒)	梨子下希衣子(43回卒)
	長谷川正徳(8回卒) 小林多美雄(9回卒)		松浦恵理子(47回卒)	市 村 睦子(54回卒)
	田尻 耕造(9回卒) 山 崎 愛子(9回卒)		小 林 里衣(55回卒)	
	小瀧 罔雄(11回卒) 嘉 成 洋(13回卒)	事 務 局 長	酒 井 範 雄(14回卒)	
	横須賀敏雄(13回卒) 酒 井 範 雄(14回卒)	事 務 局 次 長	大 島 澄 江(17回卒)	
	佐藤 光正(14回卒) 小 野 勝子(16回卒)	事 務 局 員	中 村 美 幸(25回卒)	梨子下希衣子(43回卒)
	石井 正子(16回卒) 平野さち子(16回卒)	監 事	佐 藤 光 正(14回卒)	内田さき子(30回卒)
	大島 澄江(17回卒) 佐 藤 常子(17回卒)	顧 問	仲 川 武 夫(8回卒)	滝 田 薫(元学部長)
	中村 朋子(17回卒) 福 地 光 雄(20回卒)			

2019年度 事業計画

自2019年4月1日～至2020年3月31日

期 日	会 場	内 容
2019年 4月29日(祝)	キアラ館 並びに 学生会館	2019年度 定期年度幹事総会 並びに 第36回 園遊会の開催 【2019年度 定期年度幹事総会】 ・2018年度事業報告及び決算報告、同監査報告 ・2019年度事業計画案及び予算案審議 ・役員並びに年度幹事改選について ・「シオン会だより」第14号の発行について ・「シオン会だより創刊号から第13号」製本完成 ・東京支部、水戸支部、日立支部活動報告 その他 【第36回 園遊会】 礼拝、小音楽会、懇親パーティー、ビンゴゲーム等 (特別案内1～10、19～20、28～29、39～40、 48～49、50～53回卒業生)
9月28日(土)	学園記念館 (同窓会館)	第1回 定例役員会 ・同窓会活動の現状分析と評価、課題取組の検討 ・第71回学園祭シオンフェスティバル 模擬店出店打ち合わせ ・「シオン会だより」第14号の発行作業進捗状況 ・各支部報告 ・その他
11月2日(土)	シオン館 学生玄関前	第71回 学園祭シオンフェスティバル(第16回目の参加) ・模擬店「けんちゃんうどん店」「パンの販売」
2020年 1月15日(水)		「シオン会だより」第14号発行 ・年度会費納入依頼(2019年～2021年度分) ・2020年度幹事総会並びに第37回園遊会特別案内 年度ご案内
3月14日(土)	学園記念館 (同窓会館)	第2回 定例役員会 2020年度 定期年度幹事総会 並びに 第37回 園遊会計画案審議 ・2019年度事業報告及び決算報告 ・2020年度事業計画案及び予算案 ・園遊会準備作業及び実行日程案、予算案、役割分担 案について ・役員改選並びに年度幹事の一部改選案について 編集委員会報告 ・「シオン会だより」第15号について 各支部報告 その他
2020年 4月29日(祝日)		2020年度 定期年度幹事総会 並びに 第37回 園遊会の開催

2018年度決算並びに2019年度予算

自 2018年4月1日～至 2020年3月31日

2018年度決算

収入総額 2,437,640円/支出総額 2,111,335円/差引残高 326,305円
収入の部 単位：円

科 目	2019年度 予算額	2018年度 決算額	摘 要
会 費	1,050,000	1,050,000	
前年度繰越金	326,305	371,694	前年度より繰越金
学園援助金	650,000	650,000	学園より運営助成金
園遊会基金	300,000	300,000	父母の会賛助会費委譲金より
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	70,000	65,946	預金利子、学園祭模擬店収益金
合 計	2,396,305	2,437,640	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度 予算額	2018年度 決算額	摘 要
事 業 費	330,000	366,429	
園遊会費	300,000	300,000	園遊会運営費
学園祭出店費	30,000	36,429	学園祭模擬店材料費等
研 修 費	0	30,000	年度幹事講師謝礼
活動助成費	470,000	450,000	
クラス会費	20,000	0	5,000円/1クラス会
支部活動費	450,000	450,000	東京支部、水戸支部、日立支部 各15万円
会 議 費	250,000	270,969	
定期幹事総会費	30,000	97,861	年度幹事総会費用
役員会費	100,000	50,201	定例2回、連合2回
委員会費	120,000	122,907	新聞編集会議費、名簿作成会議費等
事 務 費	670,000	796,478	
事務運営費	570,000	560,321	事務局員執務手当、連合負担金等
消耗品費	10,000	9,010	事務用品等
印刷通信費	70,000	224,968	印刷費、郵送費、シオン会だより製本代等
名簿管理費	10,000	0	
備 品 費	10,000	2,179	
旅 費	20,000	7,000	
慶 弔 費	20,000	20,459	故谷田部庄一氏
母校協力金	20,000	20,000	学園祭協賛金
事業引当積立金	180,000	180,000	積立金
予 備 費	436,305	0	
合 計	2,396,305	2,111,335	
次年度繰越金	0	326,305	

上記のとおり報告いたします。
2019年4月29日

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会
シオン会会長 根 本 龍 哉



第36回 園遊会

2019.4.29





人生の達人とは

—アドリブを生きる—



学園チャペル
園野 良哉

「また、だれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはいしな。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。」

(マルコによる福音書 二章二二節)

ユダヤの格言に「葦のようにしなやかであれ。杉のように頑なであつてはいけない。」という言葉があります。固い信念もそれなりに大切ですが、固過ぎるとポキッと折れ易くなるのも事実です。私たち人間には、時に柔軟性が必要だということではないでしょうか？

イエスは、前掲の聖句の中で「新しいぶどう酒は、新しい革袋に」と、発酵して膨張するぶどう酒の如くに大きく発展し得る新しい考え方には、新しく生まれ伸縮性のある革袋に象徴され

る柔軟な受け留め方が必要だと言っているのです。

森永製菓の社員募集に一人の青年が応募し、入社試験で面接を受けました。試験官の一人から「我が社のCMソングを歌って下さい」と促された彼は、この歌い出しました。♪チョココレイト、チョココレイト、チョココレイト、チョココレイトは…♪、ここまで歌った彼はハッと気付きました。あつ、これは森永じゃなくて、競合会社の明治のだった〜！覆水盆に返らず…しかし、彼は柔軟に考え、咄嗟のアドリブでこの歌い続けたのです。♪チョココレイトは、モリナガ！♪面接会場がシーンと静まり返ったことは言うまでもありません。肩を落として、その場を後にしたこの彼のもとに、森永製菓の人事担当からの電話がかかってきました。「ぜひ、我が社へ来て下さい。我が社は急激な変化に適応し、危機に強い人材を求めています」。なんと、森永製菓・内定の電話だったのです。柔軟性の勝利、アドリブの勝利ではないでしょうか？

能の達人、世阿弥は言ったそうです。「達人とは、失敗しない人のことではなく、失敗を活かして、さらに妙なる舞いを舞える人のことである」と。人生にも同じことが言えるのではないのでしょうか？



久しぶりの参加で

懐旧の一日



第8回卒
仲川 武夫

長らく体調を崩していたため、八年ぶりに参加しました。開通間もないJR大甕駅西口広場を通り、真新しい学園正門前に到着。そこからの景観はまさに母校の発展・充実の象徴そのものでした。

この周辺は、私が学んでいた一九五八年頃は二棟の短大校舎とその東側に運動部の小さな建物があり、その周りの芝生で友人たちと大甕駅ホームや通過する旧国鉄・日立電鉄の電車を眺めながら将来の夢などを語り合った若き日のことを思い出しました。その友人中数名はすでに他界。懐旧の思いで友の冥福を祈りました。

チャペル会場に向かう途中、旧短校舎南(現シオン館)前庭に立ち寄りしました。なぜならそこに園遊会のルートがあるからで

す。一九八〇年頃、当時短大校長草壁泰之先生と同窓会役員との懇談の折、学長から「現旧教職員と卒業生との交流機会が欲しい。」との要望があり、後日第二代仁平舜夫会長、私を含めた数名の副会長、横須賀敏夫事務局長らで協議、原案を作成。それを役員会、年度幹事会に提案、承認されました。

第一回は一九八三年四月二十九日(祝日・旧天皇誕生日)、会場は旧短大校舎南、芝生上で開催。現旧教職員、同窓生約六十名が参加し、内容は懇親パーティー中心で私が司会進行を務めた記憶が甦りました。

その思い出を胸に第三十六回チャペル、音楽会、懇親パーティーに参加。創設の趣旨を継承しつつ、進化したミッシヨンスクールカー、多彩な楽しいプログラムや卒のない運営に感激。また第八回卒の親友をはじめ招待教職員や十年間会長として私を支えてくださった多くの先輩、後輩にお会いでき、懐かしさと感謝の充実した一日を過ごすことができました。次回もぜひ参加したいと思います。

(シオン会 顧問・前会長)



園遊会に参加して



第29回卒
山口 とも子

卒業から四十年余りの時が過ぎ今年も『シオン会だより』が届きました。毎年送って下さる役員の方々に感謝しつつ封を開けますと恒例の園遊会、特別卒業生年度の案内が同封されておりました。今まで家事や仕事優先で見送りしてきましたがこれから先、親との関わり等を考えた時、今が良い機会だと思えました。何人かの友人達と連絡を取り、今回は二人での参加となりました。

当日は、学生時代の思いを馳せながら電車で行きましようとして約束し、水戸駅で落ち合いました。大甕駅に降り立った時は遠い記憶の中にあるノスタルジックな駅舎はそこにはなく、近代的な見慣れた駅の光景がありました。私達はざわざわとした気持ちで通い慣れた通学路を探しましたが見つかりません。断片的な記憶をつなぎながら、やっと見つけたその路地は通行止め愕然としました。

そんな私達を満開の八重桜が



第四十一回卒
鈴 木 直 美

園遊会に参加して

迎えてくれ、キアラ館では本当に久しぶりの讚美歌や講話、音楽鑑賞に癒されました。顧みれば、宗教の授業で教えを学んだ時の衝撃は今でも忘れられませんが、チャペルでの授業は社会人となり、仕事や人間関係で困難に直面した時、病で心がすさんでしまった時には心の支えになっておりました。短い二年間の学びがその後の人生の道しるべとなっていて、事を改めて感じました。懇親パーティーでは年代の違う方々との出会いもあり楽しい時間でした。役員の皆様の企画から運営までに感謝致します。

平成最後の園遊会の案内が届いた。毎年参加するかどうか気になってはいるが、例年昭和の日には地元の野点茶会の手伝いがあり参加が難しい年が続いていた。今年は幸い、野点の予定もなくなり、「平成最後の〇〇」という波に乗り友人たちに声をかけた。そして「平成最後の〇〇」効果もあつてか、全員の参加がなかった。

私たちが四人は二年間、自治会役員活動をした仲間である。出身高校もバラバラ、学科も教養科、英語科、生活文化学科とあまり共通項のないメンバーではあつたが、卒業してから今に至るまで交友が続いている。

子どもがキリスト中高にお世話になっていて私と違って、約二十年ぶり、三十年ぶりの彼女たちからみる今のキャンパスは「変わってない」「きれいになった。」「駅が近い」等驚きの連続であつた。

懐かしい礼拝に始まり、心やさしくコンサート、学生食堂での昼食会、お楽しみのビンゴ大会では豪華景品が当たり、つかの間のひと時を学生に戻った気分でご過ごすことができました。運営等のご準備に感謝いたします。

また、例年ご奉仕して下さっている茶の湯の会の席では、端午の節句の趣向で、味わいゆたかなお抹茶のおもてなしを受け

た。

思いかえせば平成元年度に入學して早三十年の月日が過ぎた。就職・結婚・育児等、めまぐるしく走り抜けた平成の時代であつた。

園遊会でお会いした先生方や先輩方のお元気な様子に安堵しつつ、「私たちもまだまだこれから」と、ますます頑張ろうという気持ちで帰途についた。

令和の時代も健やかに、平和な日常が送れることを願い、シオン会の発展を心よりお祈りいたします。



第44回卒
荻野谷 和子

「園遊会」に参加して

今回、何年振りかで園遊会に参加させて頂きました。当日は、晴天にも恵まれ、とてもワクワクした気持ちで新正門をくぐりました。

幹事総会に出席後、キアラ館でチャペルに参加。久々に讚美歌を歌い、その後、演奏会が行われました。チェロやオーボエといった普段聴く事の出来ない楽器を間近で体感でき、その美しい音色に酔いしれました。私の好きな「ハウルの動く城」の楽曲を始め、素敵な曲目ばかり演奏して頂き、とても感激しました。来年以降もこのような演奏会を是非、継続させて頂きたいものです。

その後の懇親パーティーでは、幅広い世代の卒業生の方々と交流出来、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、思ひ出話にはなををさかせました。ビンゴゲームも、とても盛り上がり楽しい時間を過ごす事が出来ました。

学生時代を振り返ると、毎日遅くまでアルバイトの日々でしたが、生徒会の役員をしたり、学園祭の実行委員になったり、積極的に活動していたと思えます。又、キアラ館の礼拝堂の雰囲気が好きで、チャペルにも良く足を運んでいた事を懐かしい思い出です。あつという間の二年間でしたが、とても充実したキャンパスライフを送る事が出来ました。

今回の機会をきっかけに、これからはもっと積極的に園遊会、そして短大同窓会を、私達若い世代が盛り上げていけるように、私自身も微力ながら、努力していきたいと思っております。とても楽しい一日を過ごす事が出来、役員の皆様には感謝しております。

ありがとうございます。

同窓会報告

半世紀ぶりの
学生気分



第16回卒
廣 瀬 進

私達は、数年前から毎年五月の日曜日に男子数人で昼食会形式のミニ同窓会を開催しています。今回は、学園の環境が変わったので見学しようということになり、学園記念館開館日に合わせて六人で学内見学をしました。

同館で展示物を閲覧して見学に移ると、私達が学時の建物は一部を残すのみで大きく様変わりしておりました。大甕駅周辺も同様であり、驚いたのは駅と学園が直結していたことです。

正に、以前に滝田先生が会報で言っておられた「日本一駅に近い学園」です。

礼拝堂で学長の東海林先生の講話を拝聴した後、学生気分を味わおうと学生食堂で昼食を取りましたが、プレートにのせて各人が持ってきたメニューが全員同じで、互いに顔を見合わせ苦笑しました。近くにいた孫世代の女子学生達と話をしながら

ら半世紀以上前の学生時代の思い出話をして楽しいひと時を過ごしました。

解散時に各人に感想を聞くと、「学生時代に戻りたい。」と全員同じ答えでした。

懐かしい学生生活を思い出して学生気分を味わいましたが、その学生生活を送ることが出来たのも親のお蔭と改めて感謝の思いを強く感じた一日でもありました。

最後になりましたが、お世話になりました。会館事務局の方に御礼を申し上げます。

自分の子や孫がお世話になって

二世代、三世代へと

第四十二回卒 角田 志津香

旧姓(山口)

澄み渡る青空の下に桜が満開となった日。

長男と共に茨城キリスト教学園中学校の入学式に参列した私は、不思議なご縁を感じました。

息子の中学進学を考えた時、数ある選択肢の中からキリスト教学園中学校だけが目に止まり、私の母校でもある学園に親子共々お世話になることになりました。

そして二男も兄の中学での生活を目的のあたりにし、同じくキリスト教学園中学校へ入学した



しました。

整った学習環境の中、充実した学園生活を送り、心身ともに成長していく子供たち。私も学生の頃はもちろん、親としてまた学園に戻ってくることで成長させていただきました。

気づかぬうちに見えざる神様のお導びきによって私たち家族の人生の大切な時間をここで過ごしていることは偶然ではなく必然だったのかもしれないと思っています。

変わることにないキリスト教精神に基づく教育と発展・進化し続ける学園に親子二世代だけでなく三世代へと繋がることを予感しています。

今の幸せと喜びをかみしめながらキリスト教学園に携わられた皆様に心よりお礼を申し上げます。

第七十回 シオン祭

シオン会副会長

野澤 智行

(第十二回卒)

今年で七十一回を迎えるシオン祭は、快晴に恵まれて「令和」となって初めてのシオン祭ということで、「ここから始まる物語」というメインテーマが掲げられ、学園実行委員会が中心となって十一月二日開催されました。午前十時三十分には学園正門のメインステージでオープニングセレモニーが行われ、また、学園構内では、大学、高校、中学校や各種団体等の模擬店や展示が企画されていて、朝から大勢の人たちで賑わっていました。

私たちシオン会も、恒例になった「けんちゃんうどん」の販売を、大学シオン館前に出店しました。朝八時に集合して、テントを張ったり、テーブル、イスをセッティングしたり、けんちゃんの具を煮込んだりと開店前の短時間での準備が大変でありました。

シオン会での出店は、具たくさんけんちゃん、毎年人気が高く十時二十分頃

の開店にもかかわらず、既に来店者が訪れ十一時頃には長い行列ができていました。シオン館前は、学園構内でも奥の方で場所的にはメインステージから離れていて不利な条件にもかかわらず、毎年学園関係者や学生達のリピーターが多く、二五〇食を用意したうどんは十二時前には完売となってしまいました。完売後、片付けをして学園記念館においてコーヒーでの反省会を行い、次年度もまた同じ場所と同じメニューで実施することを申し合わせて、今年度の学園祭での出店を終了しました。





今、思っていること



茨城キリスト教学園
中学校 3年
石川 由唯

私は田舎で生まれ育ち生活環境がのんびりした、自然豊かな地域で生活しています。

小学校六年生になった時、家族の勧めや学校見学会を通して、とても良い印象をもちました。設備や環境そして、学んでいる先輩たちを姿に引かれました。

さらに、祖母、母も茨城キリスト教学園で学んだことも興味・関心をもつ要因になったと思います。

入学してからは、新しいたくさんの友達もできました。

キリスト中では、色々な行事があり、スキー教室や自然体験キャンプ、イングリッシュワークショップなどの宿泊行事を通じて、更に友情を深めることができました。

私は学習面がなかなか思うように伸びず苦戦しているところ

はありますが、丁寧にご指導していただける先生方にも恵まれ、友達ともはげまし合いながら勉強に取り組んでいます。

三年間、硬式テニス部に所属していました。これまでテニス経験もなく初心者でしたが、自分なりに友達と頑張ってきました。最後の県大会では個人戦で四位という成績をおさめました。私にとって部活を続けてきて一番の思い出となりました。あきらめずにチャレンジすることのすばらしさを体験しました。この気持ちを他のことにも生かせるように心に決めました。

私のまわりの人々に感謝しながら、四月からは、高等学校へ進学します。また新しいことへの挑戦です。私なりに頑張っていきたいと思っています。

大切にしたい絆

茨城キリスト教大学
文化交流学科

一年 早川 花香

私は、祖父母の影響を受けて、「やりたいこと」が見つかり茨城キリスト教大学文化交流学科に入学しました。祖父は、仕事でインドに十年間滞在していました。祖母は、ひたちとアジア文化交流をすすめる会で多様な文化を楽しむ、外国人の方や留学の学生さんたちに日本文化の体



書道パフォーマンス甲子園



エミリーさんと本人

ことができしました。充実した時間を共有できたことからこれからも大学での学びを大切にしていきたいと思っています。

父に想う



茨城キリスト教学園
大学院11回修了
岩 下 貴

御年、四十歳。数ヶ月前に晩婚の式を挙げ、一回り年下の妻にはちょっと失礼だが、我が人生も後半戦に突入した。そんな今、心に浮かぶよしなしごとを随想したい。

私は、父を三年前に、六十四で亡くした。父は、人として、尊敬していた人間であった。父の死から三年が経ち、日に日にその悲しみは増していき、父の存在の大きさを家族共々改めて痛感している。偉大な父の背中を追い教師になった私は、益々正月など、父と温泉や釣りに行くことが何よりの喜びであった。人として、そして先輩教師として、父にはまだまだ指南を受けたいことがあった。

私の青春時代の思い出は、ここ「大甕」に凝縮している。リカレント教育で本学園で学び直した学生及び院生時代は、学園

の追究に没頭し、その合間にフットサルやボランティア活動等に夢中だった。寝る間も惜しむほど、本当に楽しい毎日だった。「キリスト教」と出逢ったのも、本学園。毎週のチャペル礼拝に参加し、美しいオルガンの音色で心を静め、賛美歌を歌ったり、奨励を聴いたりしたことが懐かしい。礼拝で折り、聖書を繙いたことで、人生の安寧を培うことができた、と反芻する。

本学園で学び教師となり、生涯の伴侶を得た今、益々謙虚に真理を追究し、真の隣人愛をもって、人と社会に進んで奉仕できる人生を歩んでいきたい。また、父親となり、いつの日か自らの子連れ、本学園のチャペルを訪れることを願っている。



茨城キリスト教大学副学長池内耕作教授と学友たち

第72回学園祭(シオン祭)への参加とご協力をお願い

シオン会では、卒業生が友人と誘い合い母校を訪れる機会を設け、学園祭に参加しています。模擬店では毎年大好評の「秋の味覚 具だくさんけんちんうどん」を提供しています。飲み物や手作りパンも販売しています。

当日模擬店等のお手伝いをして頂ける方を募集しております。同窓会事務局までご連絡ください。

問合せ先 TEL 0294-52-3215(代)
E-mail ic-dousou@icc.ac.jp

コラム



第17回卒業
大学院第10回修了
ガイダンスカウンセラー
学校心理士・教育相談員
大島 澄江

立ち止まって身の回りのSDGsを考えてみませんか

『雨晴れて紅葉拾う 校庭で』
『具たくさんけんちんうどん』

シオン祭

今年も恒例の第七十一回シオン祭に好評のけんちんうどん模擬店を会員皆様の力を頂き開催できました。共有できる仲間が存在は大きいです。日頃お世話になっている方々(学園教職員・学生・懐かしい友との出会い)に食のおもてなしができ、季節感あふれて自然の美しい学園キャンパスで楽しんでもらえる同窓会空間場所を提供できたことはとても感謝でした。会員の皆様お疲れさまでした。終了後の充実感を味わえました。ありがとうございました。

祭り後の夕方、山のようなごみを眺めながら、七月県国際協力ネットワーク会議の研修に参加させていただいた時のワードが心に残りました。それは、十七のグローバル目標でした。

「国連の「持続可能な開発目標」SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、二〇一五年の国連サミットで採択された二〇三〇年までの国際目標で、貧困、教育、ジェンダー、水、衛生、不平等、持続可能な生産と消費、気候変動、平和など十七の目標が掲げられました。本県でもSDGs推進への動きがみられるようになってきました。自分もすべての地域が資源をうまく管理され、気候変動に関心を持ち、水や食べ物、木、エネルギーといった資源を無駄にしないよう、毎日の生活を工夫し努力したいと思いました。

昨年スウェーデンの高校生グレタ・トゥーベリさんが始めた金曜日学校ストライキ。地球温暖化に対する政府の無策に抗議するため、一人で学校を休んで国会議事堂前に座り込み。気候危機の影響を受けるのは「若者だと主張」しました。世界各地の若者が共感し、中心となり、九月に「グローバル気候ストライキ」が行われました。グレタさんは、九月米国内で開かれた国連気候行動サミットで演説し

たことが、大人も環境問題に目を向けるきっかけになったようです(朝日新聞二〇一九・一〇・二三)。

十月：強風をもたらした台風十五号に続き、台風十九号では豪雨。さらに二十五日の記録的な大雨が大きな被害を残しました。久慈川が氾濫し、一階室内のベットで寝ていた男性は、背中に冷たい物を感じて飛び起きたようです。建物内外は一面浸水し、窓から外に出て救助され、九死に一生を得たという(テレビニュース)。そして、災害ごみ処理が大きな課題となりました。

想定外の自然災害で命を落とされた方のご冥福を祈り、被災された方たちに心からお見舞い申し上げます。新年号令和の時代には少子化を迎え人口減少が、急速に進むことになり、つながりを大切に、多様な社会、平和な世界、未来へと共生の時代になることを心から祈りたいと思います。



各支部だより

水戸支部

水戸支部活動報告

事務局 酒井 範雄
(第十四回卒)

シオン会水戸支部総会が令和元年(二〇一九)六月十六日(日)に京成ホテル地下1F景山にて行われました。当日は午前十一時から総会、そして終了後昼食という日程でなごやかな行事でした。根本本部長・日立支部長中村純子さん・事務局次長大島澄江さん等十六名が参加してくださいました。

役員改選により

- 支部長 庄司 良子
- 副支部長 山口 和子
- 幹事 佐藤 光正
- 顧問 嘉成 洋

各氏が、新しい役に変わりその他の前回どおりなので令和三年(二〇二二)までよろしくお願ひします。

今後の活動といたしまして、前回台風により実施できなかった高尾山の日帰り旅行を十一月十六日(日)に決定しました。今後とも水戸支部の活動にご協力お願ひします。平成三十一年三月十六日(土)〜十七日(日)と房



総半島一周の親睦旅行を実施しました。成田空港博物館へ行元寺(北斎が波のくだけ散る絵をこの彫刻から学び取ったとか)誕生寺・鯛の浦ホテル泊。次の日は白間津花パーク、彼岸前の日のためにへん混雑しておりなかなか駐車場に入れない混みようでした。海ほたる前日は雨が降ったり天候でしたが、この日は晴れ上がり風景もとても良かったです。参加人数が少なかつたせいか、家族旅行のような気分楽しい親睦会ができました。



◆高尾山

十月十六日(土) 天候も良く、参加者十五名で水戸支部での親睦旅行が実施されました。本日より根本会長・大島さん・佐藤常子さんが同行していただき、新体制(新庄司会長)での初めての行事が行なわれました。水戸駅南から常磐高速・圏央道・当日は八王子JCT付近で渋滞にあい、また高尾山ケーブルカーも混み四十分待ちという状態で、日本一急こう配を走るケーブルカーは迫力満点でした。昼食は奥多摩の有名な老舗料亭「うかい竹亭」にて二時間コースの懐石料理を堪能できた旅行でした。今後ともいろいろな計画をして行きたいと思ひますので、ぜひご参加・協力をお願いします。

日立支部

高島ちさ子十二人のヴァイオリニストコンサート鑑賞

日立支部 中村 純子

今年ふれあい旅は地元で開催されるコンサートを選んだ。お陰様で久しぶりにお会い出来た先輩方と昼食を共にし、お喋りも楽しんだ。

二〇一九年十二月十四日「十二人の素敵な女性ヴァイオリニストたち」の演奏を堪能した。メディアで知る高島ちさ子さん率いる音楽家である。確かな音楽家の集まりであった。

以前、高島さんがメディアに出演する理由を語っていたことがある。クラシックを身近に感じてもらいたい。さらに音楽家が演奏家として活動できる機会を得られること。そのための話題作りを提供。確かに私たちも興味を持って今回のコンサートを楽しみにしていた。ステージの中央に立つ彼女の演奏は大きく見え、響きは繊細に聞こえる。おしゃべりの楽しさとは別世界のメロディは素晴らしかった。演奏中、私は学生の頃の音楽室を思い出した。壁には有名な音楽家たちの肖像画が張られ、授業ではクラシックをよく聞いたものだ。十四曲の演奏はどれも



身近にある曲であり思い出もあれる。音楽とは曲に時代が反映される。そんな素敵な時間を過ごせたことに感謝したい。

第37回 園遊会のお知らせ(友よ集まれ)

園遊会は卒業生や旧教職員およびそのご家族であれば、どなたでも気軽に参加できます。

同窓・同級生のみなさま方とお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

沢山の同窓生が参加されますようお願いいたします。

- 日 時 2020年4月29日(水・祝)
 受付：午前10時00分より 開会：午前10時30分
- 場 所 学園キリスト教センター(キアラ館)及び学生会館
- 内 容 礼拝、音楽会、懇親パーティー、ビンゴゲーム、お茶席(チャリティ)
- 会 費 個人：2,500円 家族：3,500円(5人以上4,000円)
- 申し込み 同窓会事務局(毎週木曜日)
 当日、会場へ直接お越しください。尚、今回の特別案内年度は1～10回、11～12回、21～22回、30～31回、41～42回、54～56回の卒業生です。該当する方は、記念品の準備がありますので事前に事務局までお申し込みください。
- 問合せ先 TEL：0294-52-3215(代) TEL&FAX：0294-52-8899
 E-mail：ic-dousou@icc.ac.jp
 (なお、当日9時30分より定期年度幹事総会があります。)

シオン会会費納入並びに住所変更届出のお願い

シオン会では様々な活動を展開する為に卒業生の皆様に会費の納入をお願いしております。二〇一九年度から二〇二一年度までの会費三、〇〇〇円を同封の振り込み用紙により、二〇二〇年十二月末日までに納入くださいますようお願い致します。但し、第一回から第十五回の卒業会員には終身会員制度を選ぶことができます。終身会費は一〇、〇〇〇円です。

なお、納入者一覧は茨城キリスト教大

学ホームページ同窓会欄シオン会のページに掲載いたします。

これまでに住所変更届を済ませていない方や、不明になっている方は、是非現住所をお届け下さい。

□同窓会事務局(毎週木曜日)

〒三一九-一三九五

茨城県日立市大みか町六一-一

TEL：〇二九四-五二二三二(代)

TEL&FAX：

〇二九四-五二八八九

E-mail ic-dousou@icc.ac.jp

URL <http://www.icc.ac.jp/shionkai/>

編集後記

◇今年も夏の猛暑・そして台風(特に十五号・十九号)と被災し多くの方々にお見舞い申し上げます。毎年このような事に会うと天災とは思えない気がします。

十五号の時も超大型の台風との気象台の発表にもかかわらず千葉県では停電が長く続き、ある人は一時間位自動車のクーラーで休みながら片付けを続けたと云っていました。十九号では茨城県特に那珂川・久慈川の堤防の決壊等床上何mとの被害を受けた所もあり(その他長野県の千曲川・福島県の阿武隈川の堤防決壊の被害等)問題は水の引いた後の片付けです。私も昭和六十年の那珂川の氾濫で床上1m水に浸りました。その後の片付けは夏の八月で非常に苦労した体験をしました。当時は今のようにボランティアが手伝に来てくれることもなく親類・友達に手伝

をお願いしたことを覚えています。被災者の皆様これから寒くなります。頑張ってください。

◇永年の夢であった駅からの直接の正門が開通しての初めてのシオン祭が十一月二日に行なわれました。シオン会も例年のように同窓会の皆様にお手伝いをお願いけんちんうどんを販売いたしました。当日は朝早くからありがとうございました。滝田先生にも今年も参加お手伝いいただきました。病後の身感謝いたします。昨年と変り参加者の流れも変わり、十二時には完売の看板を出した現状でした。これからの場所でもやります。今年はお出迎えが出来ます。今年も忙しいところ原稿をいただきました。お礼申し上げます。

編集委員長(第十四回卒)

酒井 範 雄